

# PW-600シリーズからPW-700への 移行ガイド

株式会社計測技術研究所  
パワーエレクトロニクス事業部

# INDEX

- PW-600シリーズの概要
- PW-700への移行ガイド対象機種
- PW-700の概要
- PW-700移行のポイント
- PW-600 vs PW-700実行速度比較

# PW-600シリーズの概要

- 電源試験専用機
- 各機器は他の用途に流用不可
- 負荷ユニットは5ch固定
- 負荷ユニット内にOV試験、I/Oなど各種機能内蔵



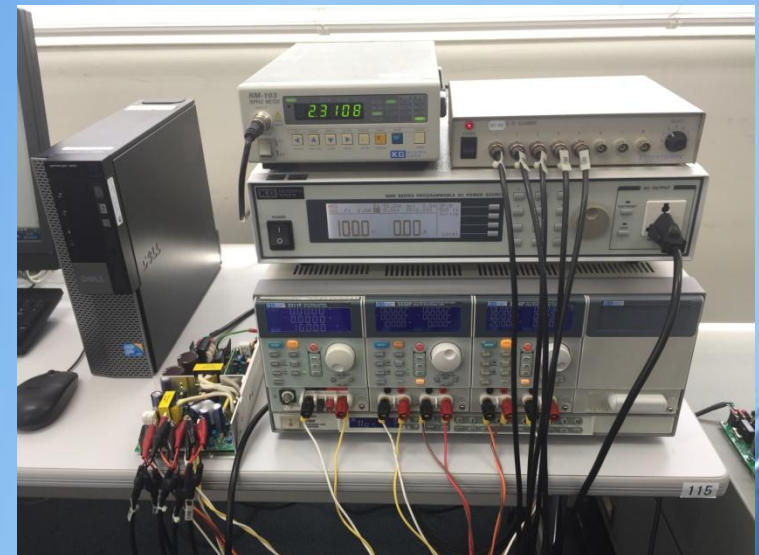
# PW-700への移行対象機種

製品	PW-600システム内各機器の型式
交流電源	model-502P, model-512, model-602, model-602A
負荷ユニット	model-500E, model-500F, model-600E
専用インターフェース	IFX-500
USB/GP-IBコンバータ	UV-11
ソフトウェア	PowerTestSite

本ガイドは、PW-700システムの新規ご購入を前提としており、既存のPW-600システムから一部の機器を再利用することは想定しておりません。

# PW-700の概要

- 汎用機器の組み合わせ(ラック&スタック方式)
- 各機器は他の用途にも使用可能
- 負荷chの構成はモジュール式でフレキシブル
- 最大8chの負荷ユニットを構成可能



# PW-700移行のポイント

	互換性	備考
外観	×	
ハードウェア	△	個々の仕様は異なりますが、同等の試験を実現することは可能です。
ソフトウェア	○	外観、操作性は全く同じであり、従来のPW-600シリーズで作成した検査プログラムの読み込みも可能です。(※)
検査実行速度	—	検査項目によって異なります。詳しくは次のページをご覧ください。
価格	—	PW-600シリーズと異なり、PW-700はお客様のご要望に合わせて都度お見積りとなっております。

※ PSF(ハードウェア機器構成)ファイルを差し替えるだけで従来の検査プログラムで動作させることは可能ですが、使用するハードウェアが異なるため、読み込んだ検査プログラムについて待ち時間の変更など修正が必要になる場合があります。

# PW-600E vs PW-700実行速度比較

項目	PW-600E	PW-700	備考
入力測定	3	3	
出力測定	3	3	
リップル測定	15	10	5ch × 2回測定
リップルノイズ測定	28	16	5ch × 2回測定
OCPテスト	8	15	Wait = 0.1秒 × 20回ループ
トータル	47	42	

単位は「秒」です。各項目にはオーバーヘッドがあるため、各項目の実行時間合計＝トータル時間とはなっていません。上記実行時間は、めやすとお考えください。  
リップルノイズ測定を多用する試験ではPW-700の方が高速であり、OCPなど負荷設定を多用する試験ではPW-600Eの方が高速という傾向です。

**ご静聴ありがとうございました**

